

2023年1月19日

九州実務補習所
2022年 2022 年 期 生 各 位

一般財団法人会計教育研修機構
九州実務補習所運営委員会

第2回ディスカッションテーマについて

2023年1月26日(木)開催

2023年1月26日(木)に開催する「第2回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定いたしました。

記載のテーマを読み、各自の考えをまとめてくるようにしてください。
なお、関連資料は各自で集めてくるようにしてください。

テーマ1 (フリーディスカッション)

新たな日本的ジョブ型雇用のあり方について各自の意見を述べて下さい。
なお、その際に以下の事項を念頭に置いて意見を述べ、他人の意見についても論評してください。

1. 従来のメンバーシップ型雇用とジョブ型雇用の違い
2. ジョブ型雇用を採用している企業の事例
3. ジョブ型雇用の弊害
4. ジョブ型雇用の企業とメンバーシップ型雇用の企業のどちらで働きたいか

※ジョブ型雇用：人材を採用する際に職務内容を明確に定義して雇用契約を結び、労働時間ではなく職務や役割で評価する雇用システム

※メンバーシップ型雇用：採用前に業務内容や勤務地などを限定せずに雇用契約を結び、雇用された側は割り当てられた業務に従事するという雇用システム

テーマ2（グループ討論）

監査には高い独立性が求められるため、利益相反の観点から、クライアント企業に対し、監査法人が監査と非監査を提供することを制限すべきだという考え方があります。

欧米では2018年建設大手が破綻したのをきっかけに、監査法人への批判が噴出し、当局が監査と非監査の分離を進めてきました。

日本でも一部の監査法人が監査部門と非監査部門の分離を計画していることが明らかになりましたし、他法人もこの流れに追随して動き始めています。

そこで、同じクライアントに監査・非監査業務を提供することのメリットやデメリットを考慮しながら、以下のいずれかの立場から議論してください。

A案：従来通り、監査先に非監査（コンサル）も提供したほうがよい

B案：欧米のように厳格に監査・非監査業務の分離を図ったほうがよい

テーマ3（グループ討論）

1班

選挙においてインターネット投票を導入すべきかどうか。

A案：導入すべき

B案：導入すべきではない

2班

給与のデジタルマネー払いについて賛成か反対か。

A案：給与のデジタルマネー払いに賛成

B案：給与のデジタルマネー払いに反対

※ レポーターは、論点整理をしたレジюмеをA4用紙1枚程度で作成して、1月24日(火)までに事務局へ1部提出すること。(FAXでもメールでも構いません)

【レジюме提出先】

九州実務補習所 事務局

F A X : 0 9 2 - 7 1 5 - 3 6 6 4

M a i l : hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp

※ レジюмеには、補習生番号、氏名、班、テーマ(2か3か)、派(A案派かB案派か)、を必ず記載すること。

注 意: レポーターでディスカッション当日に出席出来ない事がわかっている場合、必ず出席する補習生と交代するとともに、その旨を事務局に連絡すること。
尚、レポーターが無断欠席した場合、既に取得した実務学習単位から3単位を減ずる場合があるので注意すること。